

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	航空機整備1b(Aircraft Maintenance1b)	授業コード	C188851
担当教員名	林田 和隆		
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分	選択必須	単位数	2
履修上の注意または履修条件	航空工学基礎2を受講していることが望ましい。		
受講心得	板書と口頭で授業を行うので私語等を慎む事。		
教科書			
参考文献及び指定図書	航空工学入門		
関連科目	航空工学基礎2、航空機整備2、航空機整備3、航空機整備4		

授業の目的	航空機計器、航空機電源、発動機の概要を学ぶ
授業の概要	航空機装備品である航空計器の原理、又航空機で一番大切な電源、交流、直流について学習します。又航空発動機の概要についても勉強します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：授業内容について説明します。 航空機の電源の種類について説明します。	
第2週：交流発電機 交流発電機について説明します。	
第3週：直流発電機 蓄電池の充電方法について説明します。	
第4週：フレミングの法則 フレミングの左手の法則について説明します。	
第5週：電子装備 航空機に使用するアンテナ、周波数について説明します。	
第6週：電子装備 電波高度計、マーカ、慣性航法装置について説明します。	
第7週：電子装備 慣性航法装置IRS、FMS、FMC、EICAS等について説明します。	
第8週：空盒計器 空盒計器の種類、原理について説明します。	
第9週：熱電対 温度計器について原理と種類について説明します。	
第10週：航空計器 航空計器のADI、HSIについて説明します。	
第11週：非常用装備品	

非常用装備品について説明します。		
第12週：航空機エンジン エンジンピストンとガスタービンの発達と分類について説明します。		
第13週：タービンエンジン構造 ガスタービンの内部構造、ガスの流れについて説明します。		
第14週：タービンエンジン構造 ガスタービンの内部構造の内、排気系統について説明します。		
第15週：復習 格納庫にあるエンジン、CPT(コックピットトレナー)を見ながら今まで教えた内容を復習します。		
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	航空関連雑誌、航空関連本の内容が大体理解できる。
【知識・理解】	航空機事故等が起こった時、原因追究が大体できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	航空機品質向上のために、色々な助言ができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点			
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	80点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	